

平成 30 年度の活動

◆河川の状況調査◆



河川調査（岐阜市生活学校）

- ・みんなが予想したよりきれい。川がだんだんきれいになってきて、生物の種類が変わってきた。（四葉の会）
- ・調査結果はシーズンを通し、あまり変化がなかった。（中津川市生活学校）
- ・新荒田川、荒田川ともにあまりきれいに見えない。（清水川を愛する会）
- ・1回目（夏）は豪雨の後のためか少し濁っていたが、ごみ等なくきれい。（各務原市生活学校）
- ・周辺や川の中にポイ捨ての缶、ペットボトル、プラスチックが散乱。（養老町生活と環境を考える会）

◆家庭生活で実践したこと◆

<台所>

○流しから調理くず等を流さない。（必須）

- ・調理くずを出さないよう、食材を余すことなく活用。（羽島中央生活学校ほか）
- ・三角コーナーや水切りネットの使用。（金山町生活学校ほか）
- ・コンポストや生ごみを肥料として活用。（土岐市生活学校ほか）

○食用油は流さず適正に処理する。（必須）

- ・キッチンペーパーや新聞紙にしみこませたり、油を固める薬を使用した。（岐阜市生活学校ほか）
- ・リサイクルやろうそく作り。（広幡地域女性の会）
- ・廃油せっけんを作った。（恵那市生活学校ほか）

○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。（必須）

- ・キッチンスクレーパーを使用した。（土岐市女性連絡協議会ほか）
- ・使用済みのティッシュを利用したり、常にふき取り用の布を準備しておいた。（四つ葉会）
- ・野菜くずや紙で拭き取る。（養老町生活と環境を考える会）

○米のとぎ汁をそのまま流さない（任意）

- ・無洗米を使用する。（岐阜市生活学校）
- ・雑巾がけに使ったり、庭にまく。（可児市生活学校）
- ・花の水やりに利用した。（稲津公民館お兄さんお姉さんとお勉強の部屋ほか）

○台所の洗剤は適量使用する（任意）

- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。（美濃加茂市生活学校ほか）
- ・アクリルたわしを使用した。（各務原市生活学校ほか）
- ・お湯でなるべく洗い、洗剤は最小限とした。（中津川市生活学校）

<洗濯>

○洗濯洗剤を適量使用する（任意）

- ・エコ洗剤を使用する。（広幡地域女性の会ほか）
- ・洗濯の量が少ないときはまとめ洗い。（可児市生活学校）

○洗濯・その他

- ・風呂の残り湯を再利用した。（土岐市女性連絡協議会ほか）
- ・洗濯回数を抑える。（四つ葉会）

<風呂場>

○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする（任意）

- ・ノズルのプッシュ回数を決めておく。（岐阜市生活学校）
- ・使いすぎないように心がける。（美濃加茂市生活学校）

○風呂場・その他

- ・風呂場掃除は残り湯で行う。（大垣市生活学校ほか）
- ・アクリルたわしを使用。（各務原市生活学校ほか）
- ・湯が冷めないうちに早く入る。（可児市生活学校）

◆普及啓発活動◆

- ・会員を対象とした水環境学習会を不二文化センターにおいて開催し、河川の水質や水の循環などについて学んだ。学習した内容は、家族や知人、友人に対して啓発した。（羽島中央生活学校）
- ・下水道工事中や既に済んだところもあるが、家計の許す限り早めにつなぐといいねと話し合う。（四つ葉会）
- ・地区センター祭りでテキスト等を拡大コピーして展示、啓発に使用。7月に水門川クリーン作戦として、他団体と協力活動。（大垣市生活学校）
- ・小鮒を子供たちと一緒に放流。（論田川を美しくする会）
- ・啓発チラシを校区内に回覧。（清水川を愛する会）
- ・イベントに2回参加し、チラシや廃油石けんの試供品を配布して啓発。（各務原市生活学校）
- ・呼びかけを会員300名、公民館200名、学習会（2回）150名に実施。講習会を島江地区30名、宇田地区25名に実施。養老町小学校5年生30名と活動。（養老町生活と環境を考える会）
- ・環境フェアにて呼びかけを行う。（美濃加茂市生活学校）
- ・他団体に呼びかけ運動を行う。（土岐市生活学校）
- ・恵那市環境フェアに参加し、多くの人に廃油石けん、アクリルたわしの説明をした。（恵那市生活学校）

